

## 第 136 回運輸政策コロキウムのご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび運輸総合研究所におきましては、「第 136 回運輸政策コロキウム」を会場参加およびオンライン配信併用にて開催することとなりました。

つきましては、ご関心をお持ちの皆様におかれましては、ご参加を賜りますようご案内申し上げます。また、ご関心をお持ちの方々に広くご周知頂ければ幸いです。

ご参加に当たりましては、大変恐縮ですが、申込み専用 URL からお申込み頂きますようお願い申し上げます。

敬具

記

### ○第 136 回運輸政策コロキウム

日 時：2020年8月26日（水）15：00～（最大2時間）

会 場：会場参加（当研究所2階会議室で約40名を予定）  
およびオンライン配信（Zoom ウェビナー）  
（※後日、収録映像の公開は行いません。）

テ ー マ：新型コロナウイルス感染症による航空業界への影響およびその対応策

講 師：藤村 修一 運輸総合研究所客員研究員  
全日本空輸株式会社常勤顧問

コメンテータ：山内 弘隆 運輸総合研究所所長

参加費：無料

お申込み：下記の URL よりお申し込みください

<https://krs.bz/jterc/m/collo136>

（申込期限：8月24日（月）まで）

※お申し込み頂いた方には、8月25日（火）に視聴用 URL をご送付いたします。



運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

お問い合わせ：一般財団法人運輸総合研究所 企画部（担当：新倉(にいくら)）  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19（UD 神谷町ビル）  
TEL：03-5470-8415 FAX：03-5470-8419  
E-mail：collo@jttri.or.jp HP：<https://www.jttri.or.jp/>

概 要 :

## 新型コロナウイルス感染症による航空業界への影響およびその対応策

昨年11月に中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は、その後瞬く間に世界に拡大し、各国の国境閉鎖や移動制限、利用者の感染に対する不安感から航空需要は著しく低迷し、世界の航空会社は大幅な減便を余儀なくされている。本講演では、新型コロナウイルス感染症が航空業界に与える影響と、それに対する各国政府、空港会社、航空会社が現在取っている対応策、また今後取るべき方策について議論いたしたい。

講師 藤村 修一 運輸総合研究所客員研究員  
全日本空輸株式会社常勤顧問



東京大学工学部計数工学科卒業後、1980年ジェットエンジンの整備士として全日空に入社。フルブライト奨学生としてマサチューセッツ工科大学経営学部留学し、1987年に経営学修士号を取得。その後、全日空にて経営企画部部長(2003-2005)、ネットワーク戦略部長(2005-2009)、執行役員ロンドン支店長(2009-2012)、上席執行役員マーケティング室長(2012-2014)、取締役国際提携部担当(2014-2020)など数々の要職を経験。長年にわたる豊富な経験を活かし、スターアライアンスのアライアンス運営管理委員会の議長を兼務している。

2014年に出版されたハーバード・ビジネス・スクールのケース「ANA (A) および (B)」では、全日空を国内線航空会社から国際線航空会社へ変革する主人公として登場している。

コメンター 山内 弘隆 運輸総合研究所所長  
一橋大学大学院経営管理研究科特任教授



慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程修了。  
中京大学商学部専任講師、経済学部専任講師、一橋大学大学院商学研究科教授、一橋大学大学院商学研究科科長兼商学部長を経て、現在、運輸総合研究所所長兼一橋大学大学院経営管理研究科特任教授。

専門領域、交通経済論、公共経済学、公益事業論、規制の経済学。

内閣府 PFI 推進委員会委員、国土交通省交通政策審議会委員、同社会資本整備審議会臨時委員等を歴任。